



福MC 発第 199 号 (心検)
平成 30 年 11 月 5 日

各 医 師 会 長 殿

公益財団法人
福岡県メディカルセンター
理事長 松田 峻



第 34 回学校心臓検診研究会の開催について (ご案内)

深冷の候 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当メディカルセンターでは、学校心臓検診事業の一環として、福岡県下児童・生徒の学校心臓検診の充実と向上を図るため、学校関係者、学校医、専門医 (大学、病・医院)、各郡市医師会担当の先生方にお集まりいただき、学校心臓検診に関する諸問題等の対策、研究発表、特別講演等から成る研究会を毎年開催しております。

つきましては、第 34 回学校心臓検診研究会を別紙日程のとおり企画いたしましたので、ご多用中とは存じますが、貴職をはじめ担当理事・担当職員の方々にもご出席賜りたくご案内申し上げます。

なお、ご面倒をおかけしますが、ご出欠のお返事を 11 月末日までにご回報願います。

小郡三井医師会より

学校保健担当理事 田中泰之
会長 島田昇二郎

上記学校心臓検診研究会出席ご希望の方は、11月22日までに当医師会事務局へご連絡ください。

第 34 回学校心臓検診研究会

◇日 時 平成 30 年 12 月 15 日 (土) 14:00 ～ 16:30

(受付開始時間 13:30 ～)

◇場 所 エルガーラホール 7 階 中ホール (福岡市中央区天神 1-4-2)

◇プログラム

1. 「平成 29 年度学校心臓検診報告」

福岡県メディカルセンター心電図判読委員長 石川 司 朗

2. 「学校検診での成長曲線・肥満度曲線活用の現状と問題点」

座長：福岡県医師会理事 香月 きょう子

講師：産業医科大学医学部医学教育担当准教授 山本 幸代

学校保健安全法施行規則が平成 28 年 4 月に一部改正され、児童生徒の発達評価に成長曲線・肥満度曲線を活用することが示された。北九州市では平成 28 年度から定期健康診断で成長曲線・肥満度曲線の活用を開始、肥満度異常のスクリーニングとして、高度肥満(肥満度の最新値が 50%以上)、肥満の急進(肥満度の最新値が過去の最低値に比べ 20%以上増加)を指摘された全児童に受診勧奨を行っている。高度肥満・肥満の急進による受診勧奨によって、受診した児の約 1 年後のフォローアップの状況と経過について検討したため、報告する。初年度の肥満度異常の児の受診率は、小学生で約 3 割、中学生で約 1 割に留まることが明らかになった。学校現場での対応の現状と問題点を把握するため北九州市立小・中学校全 194 施設への調査を行った。その結果から、問題点の把握と受診率向上への取り組みを考察する。

3. 「福岡県での若年者の心肺蘇生事例についての報告」

座長：九州医療センター循環器内科科長、循環器センター部長 中村 俊 博

講師：大濠こどもクリニック院長 牛ノ濱 大也

九州沖縄 8 県医師会による九州学校検診協議会で、若年者の学校管理下・家庭における心肺蘇生事例の実態を把握するため、平成 25 年より消防・学校・医療機関に心肺蘇生事例調査票による情報収集を依頼している。今回過去 5 年間で収集された調査表を元に福岡県の実態について報告する。平成 25 年から 29 年の間に 205 例の報告があった。16 例、33 例、47 例、57 例、52 例と年々増加し、年 50 例前後の心肺蘇生事例の報告がある。年齢別では 0 歳児が最も多く 88 例、園児(1 歳以上 6 歳未満) 35 例、小学生(6 歳以上 13 歳未満) 29 例、中学生(12 歳以上 16 歳未満) 21 例、高校生(16 歳以上) 29 例であった。心肺蘇生はそれぞれ 96%、89%、73%、90%、92%の例に行われていた。AED 装着は、各年齢で 17 例、9 例、15 例、5 例、10 例であり、内作動生存例は、1/2 例 50%、1/1 例 100%、5/9 例 56%、2/4 例 50%、2/3 例 66%であった。校内での事例では、早期の心肺蘇生、AED が行なわれ救命される可能性が高い。

【主 催】 公益財団法人福岡県メディカルセンター

【後 援】 福岡県教育委員会・福岡県私学協会・公益社団法人福岡県医師会

〔問合せ先〕

(公財) 福岡県メディカルセンター 学校心臓検診係

TEL : 0 9 2 - 4 7 1 - 8 5 9 9